



はなみずき

学校だより
磐田市立竜洋西小学校
令和3年5月20日
～えがお かがやく にしのこ～

挨拶の輪を家庭、地域でも

新型コロナウイルス感染拡大が心配される中ですが、子どもたちは感染予防に努めながら、毎日元気に学校生活を過ごしています。



今年度になり、昇降口での挨拶が素晴らしい子がさらに増えてきました。5月11日（火）にリモートにて行った会礼の中で、校長が次のような話をしました。「挨拶はどうしてのするのか。」「何のために挨拶をするのか。」この答えを各学年の発達段階に合わせて考えさせています。そして、「いい挨拶」ができるようにしていきたいと思います。御家庭でもお子様といっしょに考え、実践していただけたらありがたいです。

【5月11日（火）会礼での校長の話】

「あ」入学式のときに、1年生に4つの「あ」の話をしました。その一つが「挨拶が自分からできる1年生になろう」でした。今日は1年生だけではなく、西の子全員に聞きます。

「挨拶が自分からできる西の子になっっていますか？」

私は、毎朝、昇降口で西の子と挨拶を交わしています。素晴らしい挨拶ができる子がいます。元気のよい声で挨拶する子、目をしっかり見て挨拶する子、笑顔で挨拶する子、立ち止まって挨拶する子、会釈といって、頭を下げながら挨拶する子、教頭先生おはようございます、三江先生おはようございます…と、相手の名前を呼んで挨拶する子、このように、いろいろな「いい挨拶」があります。あなたの挨拶のいいところはどこですか？西の子のいい挨拶を、全員で広げていきましょう。

では、ここでみなさんにクイズです。全員がいい挨拶ができるようにするために大切なことは何だと思いませんか？

大切なことはこれです。

「みなさんはどうして挨拶をするのですか？」

「何のために挨拶をしているのですか？」

この質問に答えられるかどうかです。答えはたくさんあります。ぜひ、クラスの友達や先生とも、一緒に考えて行動してみましょう。

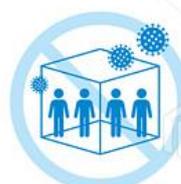
明日からのあなたの挨拶は、さらに新しい挨拶に変わります。楽しみにしています。

～家庭での挨拶の輪の広げ方～

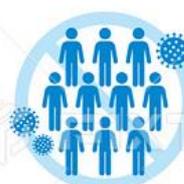
まず、「おはようございます。」「おやすみなさい。」「いただきます。」「ごちそうさまでした。」などの挨拶を親子であることを習慣化していただけたらありがたいです。その上で、学校でのこと、家庭でのことなど、会話が広がるとよいと思います。

新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、静岡県内の感染状況を国の基準で2番目に深刻なステージ3（感染急増）に引き上げられ、「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」の行動基準も「レベル2」に引き上げられました。校内では、「マスクの着用」「手指衛生の徹底」「三密（密閉、密集、密接）の回避など、基本的な」感染予防をこれまで以上に徹底していきます。子どもたち、保護者の皆様、職員、そして、それぞれの御家族の健康と安心を守るために、御家庭でも以下の点について、御理解と御協力をお願いします。



密閉



密集



密接

- 毎朝、お子様の検温と体調確認を行ってください。発熱、せき、のどの痛み、鼻水などの症状があった場合は、学校へ御連絡いただき、症状が改善されるまで自宅で休養させていただきようお願いします。
- 同居の御家族に風邪症状がみられる場合も症状が改善されるまでは登校させないようお願いします。（医師により新型コロナウイルス感染症ではないと診断をされている場合は除く。）
- お子様本人、もしくは同居の御家族が新型コロナウイルスに感染した場合、その疑い（濃厚接触者の疑い、**PCR検査等の実施も含む**）がある場合は、学校（0538-66-2134）へ御連絡ください。なお、土曜日、日曜日の場合には、磐田市役所代表（0538-37-2111）へ御連絡ください。

PTAコーナー

5月15日（土）にPTA奉仕作業がありました。今回は1年、2年、4年の保護者を中心とした皆様にお集まりいただきました。草取り、側溝の掃除、運動場整備、トイレ掃除等を行っていただき、校舎内外がとてもきれいになりました。コロナ禍ではありますが、感染予防に努めながら御協力いただきありがとうございました。



PTA総会（書面）で御承認をいただきましたとおり、広報部の廃止に伴い本年度より「PTA新聞」を発行しません。PTA活動の様子や子どもたちの学校生活の様子は、学校だよりや学年だより、ホームページ等でお伝えしていきます。

5月10日（月）から5月28日（金）までの期間、静岡大学教育学部の4名の学生が教育実習を行っています。学級担任の授業を参観したり、昼休みに子どもたちと一緒に思いっきり遊んだりしています。子どもたちの笑顔がいつも以上にあふれています。子どもたちにとっても教育実習生との触れ合いは貴重な経験になると思います。